

Enterprise Agile プロジェクトアセスメント

実績に基づき開発した各種ツールを利用、ヒアリングによる本質的課題を抽出し Agile活用を強力に支援

Agile活用に向けた改善点を洗い出し、変革を早期に実現する

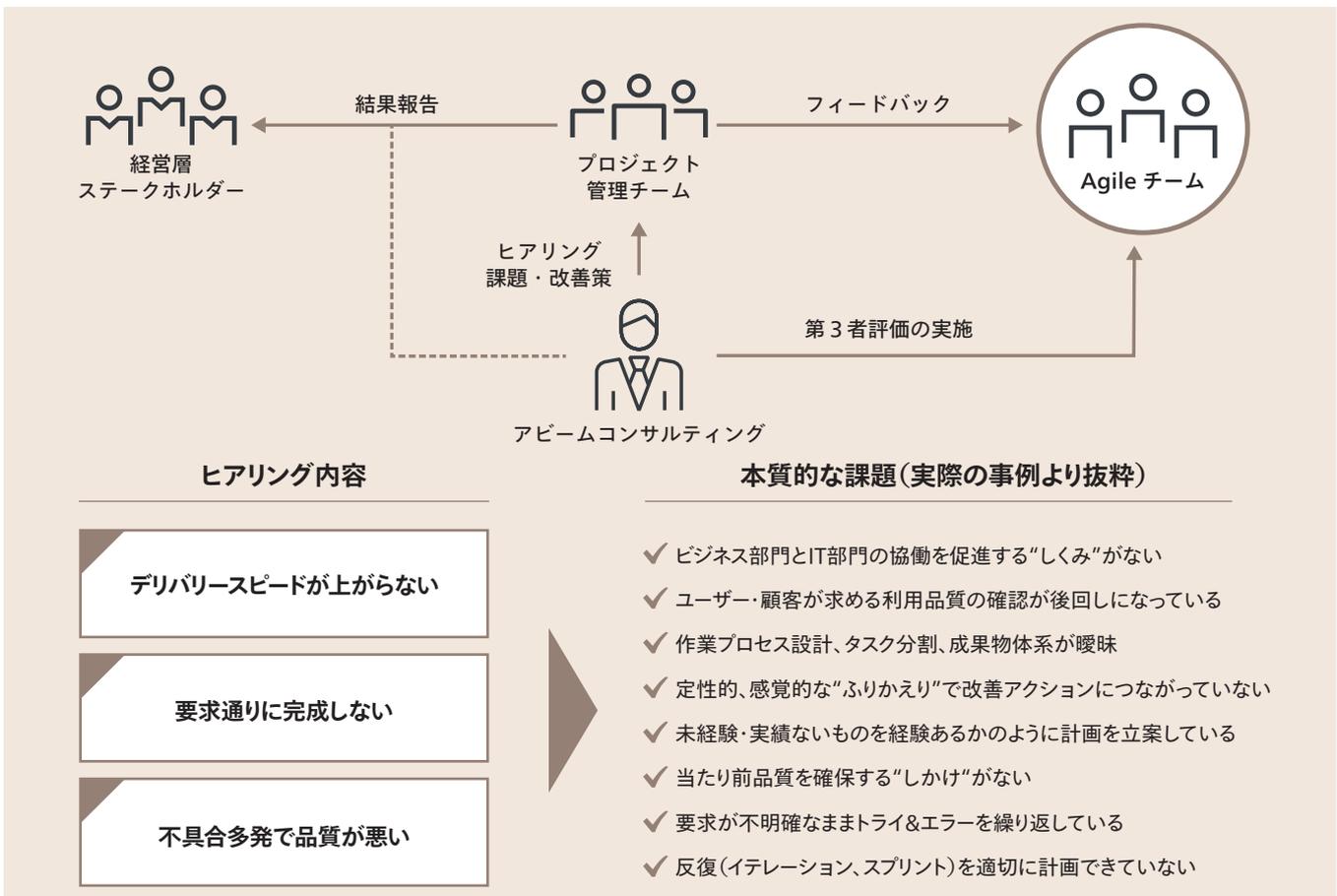
マーケットが求めるビジネスへの要求やビジネスが求めるITへの要求は、日を追うごとに高度化・複雑化しています。変化の早いビジネス環境に呼応するために Agile 方式でのプロジェクトマネジメントが注目されています。一方 Agile にプロジェクトを実践するも、「デリバリースピードが上がらない」、「要求通りに完成しない」、「不具合多発で品質が悪い」など期待した効果を得られることができず、失敗するケースが後を絶ちません。アビームコンサルティングでは、国内外でのプロジェクト特性や組織の文化、ステークホルダーの成熟度にあわせビジネスとITの変革を早期に実現してきたノウハウを Agile 方式でのPJ推進に必要な方法論として整理しています。プロジェクトを第三者の立場・視点から評価し本質的な課題・原因を特定するだけでなく、プロジェクト特性やステークホルダーの状況に合わせた改善施策を提言することで、デジタル時代のスピーディなプロジェクト推進を支援します。

Enterprise Agileプロジェクトアセスメントの価値

「Agileを活用してプロジェクトを実施しているが、期待した効果を得られてない。何が原因なのか分からないので、どう改善したらいいのかわからない。」、「課題や原因の予想はついていないが、打破する有効な解決策が思い浮かばない」、Agile活用が注目されると同時に、このような悩みを抱える企業も増えてきました。

Enterprise Agileプロジェクトアセスメントサービスは、Agile活用を阻む課題、当事者だけでは発見・指摘しづらい本質的な課題の客観的立場・視点からの見極め、何をどのように改善し、どこから着手するべきかといった実行性ある改善施策立案を支援します。

ヒアリングによる本質的課題抽出の例



アビームコンサルティングのアプローチと活用ツール

Agile プロジェクトアセスメントは大きく4つのステップで構成され、活用を阻む課題の見極め、改善施策を導きます。各ステップでは、当社がこれまでの実績に基づき開発した活用診断チェックシートやAgileに関する方法論（ABeam Enterprise Agile Delivery）を最大限に利用し、Enterprise Agile プロジェクトアセスメントをクイックかつ効果的に実施することができます。



- アビームコンサルティングが独自に作成した活用診断チェックシートを軸に Agile 活用状況をインタビュー
- 各種資料（反復計画、スケジュール、設計書、ふりかえり結果、成果物等）の確認
- インタビュー結果、各種資料から課題を洗い出し、真因をクイックに分析
- ディスカッションを通じて本質的な課題とその原因を整理
- 弊社 Agile 方法論（ABeam Enterprise Agile Delivery）をベースに改善施策をクイックに検討
- ディスカッションを通じて、プロジェクト特性やステークホルダーに応じた施策へと洗練
- ヒアリング結果、課題と原因、取り組むべき改善施策をアセスメント結果レポートとして整理

チェックシート

課題一覧

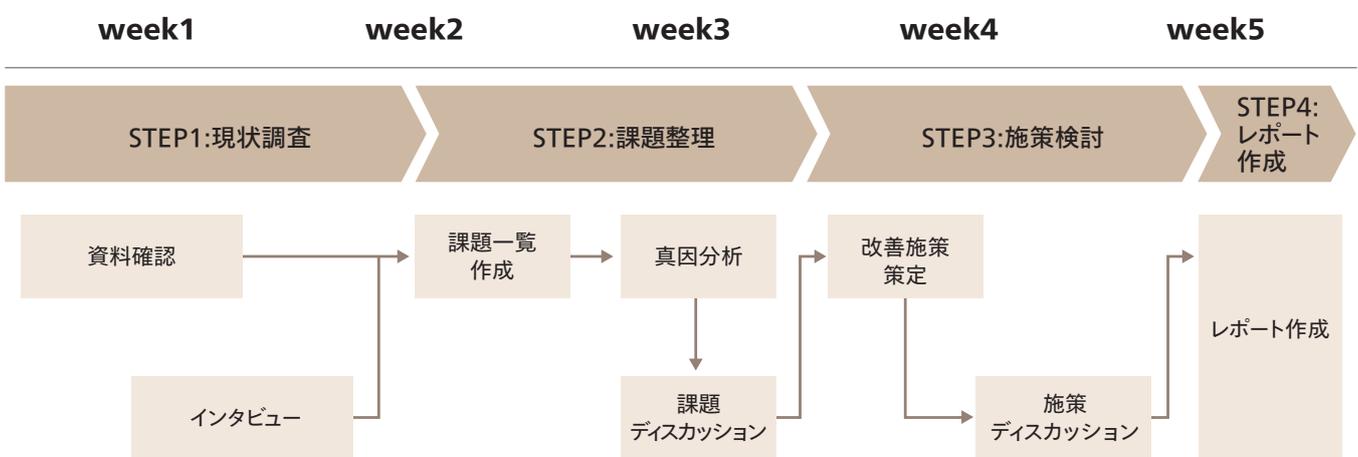
Agile方法論

アセスメントレポート

Enterprise Agileプロジェクトアセスメント実施スケジュール

アビームコンサルティングはこれまでのアセスメント実績から、アセスメントを最短5週間で実施します。

- ※アセスメント実行期間は、評価対象のプロジェクト規模や複雑性により異なります。
- ※各種資料の確認は、全数チェックではなくサンプルチェックを前提としています。



オプション:実行支援サービス

アビームコンサルティングでは、アセスメントサービスだけでなく改善施策の実行についてもご支援可能です。